

龍谷大学図書館長 殿

所属・職名 経済学部教授
氏名 竹内 真彦2020 年度 大型図書 研究成果（経過）報告書

このことについて、下記のとおり報告いたします。

購入資料名 静嘉堂文庫所蔵 宋元版（マイクロフィルム版） ユニット4～ユニット6	採択年度 2020年度
1. 研究の概要について ①「正史」の刊行史において、その出版をとりまく状況を、特に目録（目次）の継承という視点から記述する（2019年度からの継続）。 ②日本における「正史」概念の受容史について記述する。	
2. 購入資料の活用状況（活用予定を含む）について記入してください。 購入資料には、宋版『周書』『北史』『唐書』が含まれている。また、2019年度に購入した「静嘉堂文庫所蔵 宋元版（マイクロフィルム版）ユニット2&ユニット3」は『史記』や『漢書』3種をはじめ、16種類の正史テキストを含む。これらの画像は現存する正史の版本画像としては早期のものであり、その後に刊行された正史版本が如何なる演変を遂げていったかを確認するための原拠となる。 また、「正史」という中国発祥の概念が日本において如何に受容されたかを考えるためには、正史の早期版本の確認は不可欠である。	

3. 研究発表状況（予定を含む）について記入してください。

- ・【雑誌論文】（著者名、論文タイトル、雑誌名、巻号、発行年等）

竹内真彦「『正史』目録の演変（1）――三国志の場合――」

（『龍谷紀要』第44巻第2号、2023年3月、pp. 57-69）

https://www.ryukoku.ac.jp/faculty/kyouyou/images/kiyou_44-02.pdf

- ・【図 書】（著者名、タイトル、出版社、発行年等）

竹内真彦『最強の男 三国志を知るために』（春風社、2020年）

☆公表の際には、参考文献として刊行物に明記してください。

☆資料購入後、**1年以内に研究経過報告書**を提出し、また、**3年以内に研究成果報告書**を提出してください。
加えて著書または学術雑誌等により**研究成果の公表または学会発表**をしてください。

2020年度採択締切：【研究経過報告書】2022年3月31日、【研究成果報告書】2024年3月31日

2021年度採択締切：【研究経過報告書】2023年3月31日、【研究成果報告書】2025年3月31日

2022年度採択締切：【研究経過報告書】2024年3月31日、【研究成果報告書】2026年3月31日

2023年度採択締切：【研究経過報告書】2025年3月31日、【研究成果報告書】2027年3月31日

2024年度採択締切：【研究経過報告書】2026年3月31日、【研究成果報告書】2028年3月31日

2025年度採択締切：【研究経過報告書】2027年3月31日、【研究成果報告書】2029年3月31日

